

問 企画費の封筒デザイン委託料とあるが何か。

答 ふるさと納税事業で納税をいただいた後に、こちらから受領書等をお送りするが、使用する封筒を作成する際に町の印象を高めるため、デザインを起こしたものの。

問 デザインはふるさと納税事業に限るのか。

答 ふるさと納税事業以外でも使用いただけるように周知し、色々な所で使用している。

問 企画費のデュアルライフ推進事業、起業支援及び定住促進PR事業、業務委託とあるが内容は。

答 デュアルライフとは、町に別荘などを構え、二地域を行き来して居住するスタイルをいうもので、町でもその促進をしていきたいと考えている。その施策推進の計画づくりと、HP等様々な所で広報をしていきたいので、そのコンテンツづく

くりをお願いしたものが45万3000円。

また、起業支援及び定住促進PR事業は、移住・定住施策を展開しているが、その広報媒体としてパンフレットやリーフレットの作成及びウェブサイトでの広報などを行ったものが、53万1000円となっている。

問 いきいき集落づくり助成事業補助金とは何か。

答 いきいき集落づくり助成事業は県の補助事業で、高崎商科大学と町の「まちづくり委員会」がコラボをして、町の散策マップを1万7500部作成した。効果的に観光主要地に置いたり、イベント等で使用している。県の補助率は事業費の4分の3で、11万3000円を町から支出した。

問 庁舎耐震補強工事について、委託料に庁舎物品移転業務委託料等があるが、庁舎耐震補

強工事は総額でいくらかかったのか。

答 平成26年度・27年度で庁舎耐震補強工事を実施した。本体工事に4億494万6000円、防災無線移設工事518万4000円、電話配線・LAN工事に1181万6000円、委託料として物品移転業務に449万4000円と工事監理委託業務で866万9000円、

総合計で4億3511万1000円。

問 出産祝金について。

答 出生子1人につき5万円、23人に支給した。

問 各地で災害が発生している、避難準備情報等を流したり、早めの避難等が必要になると思うが、住民に対しての啓発は何か考えているのか。

答 過去に行った防災訓練は町の一カ所に集



耐震補強工事 筋交い(すじかい)を新設

まって行うものでしたが、昨年度の訓練は孤立地域の解消を重点に行った。参加された方からは、非常に有意義であったと聞いている。

また、住民意識の啓発については、本年度作成する地域防災マップを全戸配布することによって図りたいと考えている。

問 現在の消防団員は何人か。また定数は何人か。

答 165人で定員182名。

問 出合い交流について、27年度状況は。また、今までと違う取り組みを考えているか。

答 27年度は2回イベントを実施し、カップルは1組成立。今後、商工会青年部と共同でのイベントの実施も検討している。

問 保育所運営費の関連で、最近馬山保育園の利用者が増えていると聞いたがその理由

は。

答 4月から認定こども園となり、名称も馬山こども園に変更。親の就労場所との関係もあり、馬山の園児が増えていると思われる。

問 扶助費の内容で、1626万7000円減額補正し、さらに不用額が1000万7000円あるが。

答 福祉医療費助成の補助対象人数が30人くらい減少した。その中でも大きい割合を占める障害者の対象人数は変わっていません。前年度に比べインフルエンザの流行もなく医療費の支出が大きく減少した。

問 スズメバチ駆除助成金21万2500円について。

答 スズメバチの駆除については、防護服を無料で貸し出し借用者が自ら駆除する方法のほか、ハチ駆除専門業者に依頼する方法がある。この金額は町民等が、ハチ駆除専門業者